

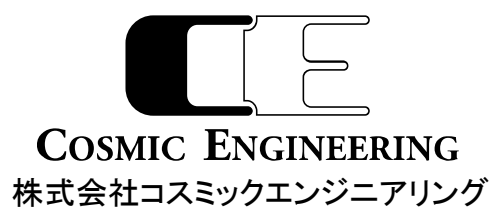
DFS5201/DFS5202

C5000 シリーズ

フレームシンクロナイザー・モジュール

取扱説明書

Ver 1.00



はじめにお読みください

ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。



注意

この表示内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。



左の記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。



左の記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



左の記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。



警告

■ 万一異常が発生したらそのまま使用しない

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がする。
このような時はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、
本製品を設置した業者またはメーカーに修理を依頼してください。



■ お客様による修理はしない

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。



■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



■ 内部に異物を入れない

通風口などから内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、
落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを
コンセントから抜いてください。



■ 本体フレーム等の天板等を外したり、改造をしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



■ ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。



■ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

火災・感電の原因になります。



■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。



■ 電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを加工しない。無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
電源ケーブルの上に機器本体や重いものを載せない。
電源ケーブルを熱器具に近づけない。火災・感電の原因となります。



■ 機器の上に水や薬品等が入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



■ 機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを本体
から抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。



 注意**■ 電源プラグを抜くときは**

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグをもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。

**■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**

感電の原因となることがあります。

**■ 次のような場所には置かない**

火災・感電の原因となります。
湿気やほこりの多いところ、直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど
高温になるところ、油煙や湯気の当たるところ、水滴の発生しやすいところ。

**■ 通風孔をふさがない**

本体には内部の温度上昇を防ぐための通風孔が開けてありますので、次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
あお向け、横倒、逆さまにする。風通しの悪い狭い場所に押し込む。

**■ 重いものを載せない**

機器の上に重いものや本体からはみ出る大きなものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。

**■ 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する**

本体の電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。
指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの原因となります。

**■ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く**

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

**■ お手入れをする時は電源プラグを抜く**

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。



仕様および外観は改良のため、予告無く変更することがあります。
本機を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
海外仕様、DC入力仕様については弊社営業までお問い合わせ下さい。

目 次

表紙.....	1
はじめにお読みください.....	2
目次.....	5
1. 概要.....	8
2. 構成.....	8
3. 機能.....	8
4. ブロック図.....	10
5. 操作説明.....	11
5-1. フロント、リア入出力及び LED 表示.....	11
5-2. フロントモジュール設定.....	13
6. フレームへの取付方法.....	13
7. SNMP.....	14
8. コンフィグ設定ファイル・フォーマット.....	27
9. WebControl.....	33
9-1. モジュール画面.....	33
9-2. ステータス.....	33
9-2-1. SDI 入力 1.....	33
9-2-2. リファレンス.....	33
9-2-3. Dipsw1.....	34
9-2-4. Dipsw3.....	34
9-2-5. 内部バス通信エラー.....	34
9-2-6. SDI 入力 1 アンロックエラー.....	34
9-2-7. リファレンスアンロックエラー.....	34
9-2-8. LTC アンロックエラー.....	34
9-3. 各種設定.....	35
9-3-1. 入力 1 リレー.....	37
9-3-2. リファレンス選択.....	37
9-3-3. 水平位相.....	37
9-3-4. 垂直位相.....	37
9-3-5. FS モード.....	37
9-3-6. フリーズ動作.....	37
9-3-7. アンシラリー出力.....	37
9-3-8. システムフォーマット.....	37
9-3-9. マニュアルフリーズ.....	38
9-3-10. ATC(LTC)出力.....	38
9-3-11. ATC(VITC)出力.....	38

9-3-1 2.	タイムコード選択.....	38
9-3-1 3.	タイムコードオフセット.....	38
9-3-1 4.	タイムコードオフセット(時)～(フレーム).....	38
9-3-1 5.	タイムコードロスト時.....	38
9-3-1 6.	タイムコード初期値(時)～(フレーム).....	38
9-3-1 7.	タイムコード初期値(BG1)～(BG フラグ).....	38
9-3-1 8.	タイムコードドロップフレーム.....	38
9-3-1 9.	タイムコード初期値読み込み.....	38
9-3-2 0.	タイムコードフレーム初期値読み込み.....	38
9-3-2 1.	タイムコードラン.....	38
9-3-2 2.	同じ TC ロスト判定.....	38
9-3-2 3.	DF/NDF モード.....	38
9-3-2 4.	エンベデッド・グループ 1～8 出力.....	38
9-3-2 5.	自動プリセット適用.....	38
9-3-2 6.	プリセット 1M～プリセットその他.....	39
9-3-2 7.	GPI1,GPI2 機能.....	39
9-3-2 8.	GPO1,GPO2 機能.....	39
9-3-2 9.	SDI リモート録画.....	39
9-3-3 0.	スーパー出力.....	39
9-3-3 1.	スーパー静止画選択.....	39
9-3-3 2.	スーパー位置(X)、(Y).....	39
9-3-3 3.	スーパーマスク 1～4.....	39
9-3-3 4.	スーパーマスク 1 左上(X)～スーパーマスク 4 右下(Y).....	39
9-3-3 5.	プリセット読み込み.....	39
9-3-3 6.	プリセット書き込み.....	39
9-3-3 7.	カレントエンベデッド Ch01～Ch32 入力ゲイン.....	39
9-3-3 8.	カレントエンベデッド Ch01～Ch32 出力ゲイン.....	39
9-3-3 9.	カレントテストトーン 1 振幅(dBFS).....	39
9-3-4 0.	カレントテストトーン 1 周波数.....	39
9-3-4 1.	カレントテストトーン 2 振幅(dBFS).....	39
9-3-4 2.	カレントテストトーン 2 周波数.....	40
9-3-4 3.	カレントリマップ出力 Ch01～Ch32.....	40
9-3-4 4.	ダウンミックス・ソース選択 Ch01～Ch32.....	40
9-3-4 5.	ダウンミックス・Left、Right 係数 Ch01～Ch32.....	40
9-3-4 6.	ダウンミックス・Left、Right 符号 Ch01～Ch32.....	40
9-3-4 7.	ミックス 1～8 ソース選択 Ch01～Ch04.....	40
9-3-4 8.	ミックス 1～8 係数 Ch01～Ch04.....	40
9-3-4 9.	カレント音声遅延(ms).....	40
9-3-5 0.	カレント輝度(*0.1%).....	40
9-3-5 1.	カレント彩度(*0.1%).....	40

9-3-52. カレント色相(*0.1°).....	40
9-3-53. アラーム設定（内部バス通信エラー）	40
9-3-54. アラーム設定（SDI 入力 1 アンロックエラー）	40
9-3-55. アラーム設定（リファレンスアンロックエラー）	40
9-3-56. アラーム設定（LTC アンロックエラー）	40
9-3-57. トラップ設定（SDI 入力 1 アンロックエラー）	40
9-3-58. トラップ設定（リファレンスアンロックエラー）	41
9-3-59. トラップ設定（LTC アンロックエラー）	41
9-3-60. 初期設定に戻す	41
9-3-61. コンフィグファイルに書き込み	41
9-4. 再起動設定	41
9-4-1. 再起動を許可.....	41
9-4-2. コントローラの再起動	41
9-5. ログ設定.....	42
9-5-1. ログ件数	42
9-5-2. ログ更新時刻	42
9-5-3. ログファイル初期化	42
9-5-4. ログ取得	42
9-6. 製品情報	43
9-6-1. 製品 ID	43
9-6-2. 製品概要.....	43
9-6-3. Version (Firmware), Version (Hardware)	43
9-6-4. 占有スロット数	43
9-6-5. 別名	43
9-6-6. スーパーオプション	43
10. 各種タイミングについて.....	44
10-1. AVDL モード引き込み範囲と入出力遅延	44
10-2. フレームシンクロナイズ・モード及び AAM モード入出力遅延.....	45
10-3. バイパス・モード入出力遅延	46
10-4. AAM モードでの音声ミュート時間	46
11. コネクター ピンアサイン表	47
12. 定格および電気的特性	48
13. お問い合わせ	50

1. 概要

- DFS5201 は C5000 モジュールシステムに搭載可能な 3G/HD/SD-SDI 信号に対応した 1 入力 4 出力を持つフレームシンクロナイザー・モジュールです。DFS5202 は、1 入力 4 出力と個別のリファレンス入力、リモート入力を持つフレームシンクロナイザー・モジュールです。
- C5000 シリーズ システムフレーム C5002 (2RU) , C5001 (1RU) に搭載可能です。
- 欧州 RoHS 指令に適合しております。

2. 構成

DFS5201,DFS5202 は本体と付属品で構成されています。

下記の表の通り揃っていることを確認してください。

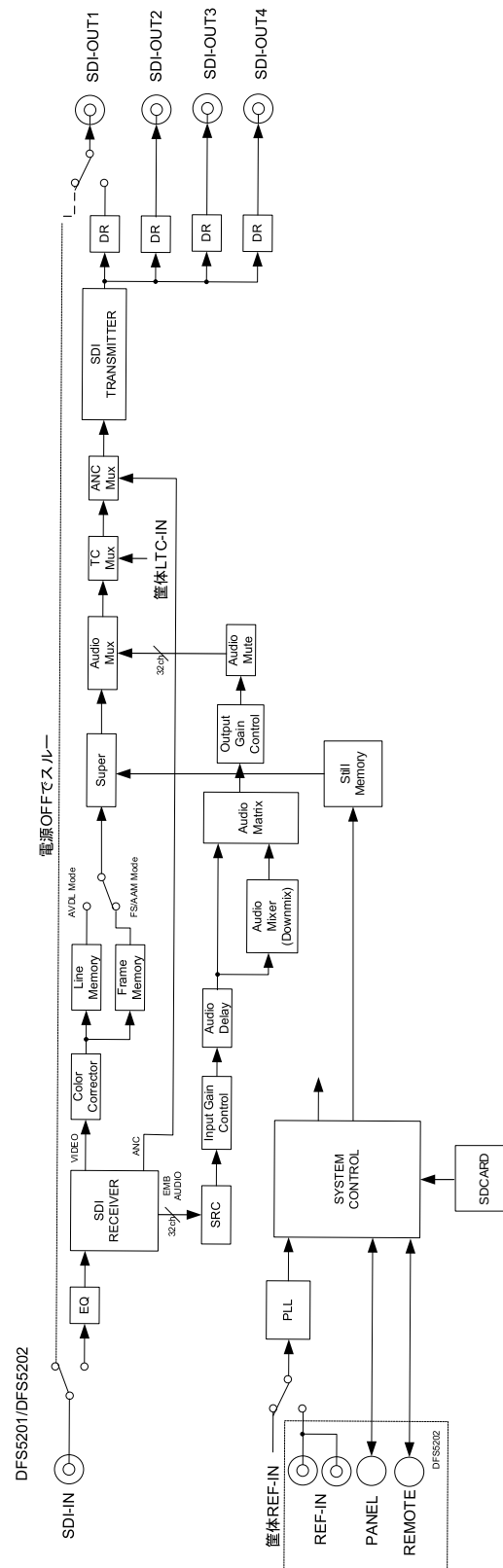
品 名	型 名	数 量	備 考
フレームシンクロナイザー・モジュール	DFS5201 又は DFS5202	1	本体
取扱説明書		1	本書
検査合格証		1	

3. 機能

- ・3G(レベル A/B)/HD/SD-SDI に対応し、入力レートを LED で表示します。点灯色は、「5. 操作説明」を参照してください。
- ・リファレンス信号の状態を LED で表示します。点灯色は、「5. 操作説明」を参照してください。
- ・シンクロナイズ動作には 3 つのモードがあり、どのモードに設定されているか LED で表示します。点灯色は、「5. 操作説明」を参照してください。
- ・筐体 LTC-IN に入力されたタイムコードを、タイムコードパケット(LTC/VITC, SMPTE ST12-2)として重畳することができます。
- ・エマージェンシースルー（電源 OFF 時）に対応します。DFS5201/DFS5202 は、電源 OFF 時（フロントモジュール未挿入時含む）に SDI-IN が SDI-OUT1 にスルーされます。
- ・フレームシンクロナイズ・モードでは最大 1 フレームの最小遅延で出力します。
- ・AVDL モードでは 10 ラインの引き込み範囲を搭載しています。
- ・エンベデッド・オーディオ 32ch に対応します。（SD/HD-SDI は 16ch まで、3G-SDI はレベル A/B 共に 32ch まで対応します。）
- ・リマッピング、ゲイン調整、ダウンミックス、任意チャンネルのミックス機能を装備しています。
- ・ゲイン調整は、-30.0dB～+20.0dB まで、0.1dB 単位で設定可能です。
- ・任意チャンネルのミックスは、4ch までの音声ソースをミックスすることができ、ミックスした音声を 8 通り作成することができます。その 8 通りのミックスした音声を出力にマッピングすることができます。
- ・システムフォーマットを設定することにより、PI 変換、フレームレート変換（フレーム間の補間はしません）を行うことができます。例として、システムフォーマットを 1080i59 に設定すると、1080p59A や 1080p50A で入力された映像は、PI 変換、フレームレート変換され常に 1080i59 フォーマットで出力されます。（オーディオ以外のアンシラリーデータの通過はサポートしません）
- ・12 個のプリセットに各種設定を格納することができ、局間制御パケットのカレント音声モードによりプリセットの自動切り替えが可能です。
- ・接点入力によるプリセットの切替が可能です。
- ・音声遅延を 0ms～2sec まで 1ms ステップで付加することが可能です。
- ・輝度/色相/彩度等の調整が可能です。

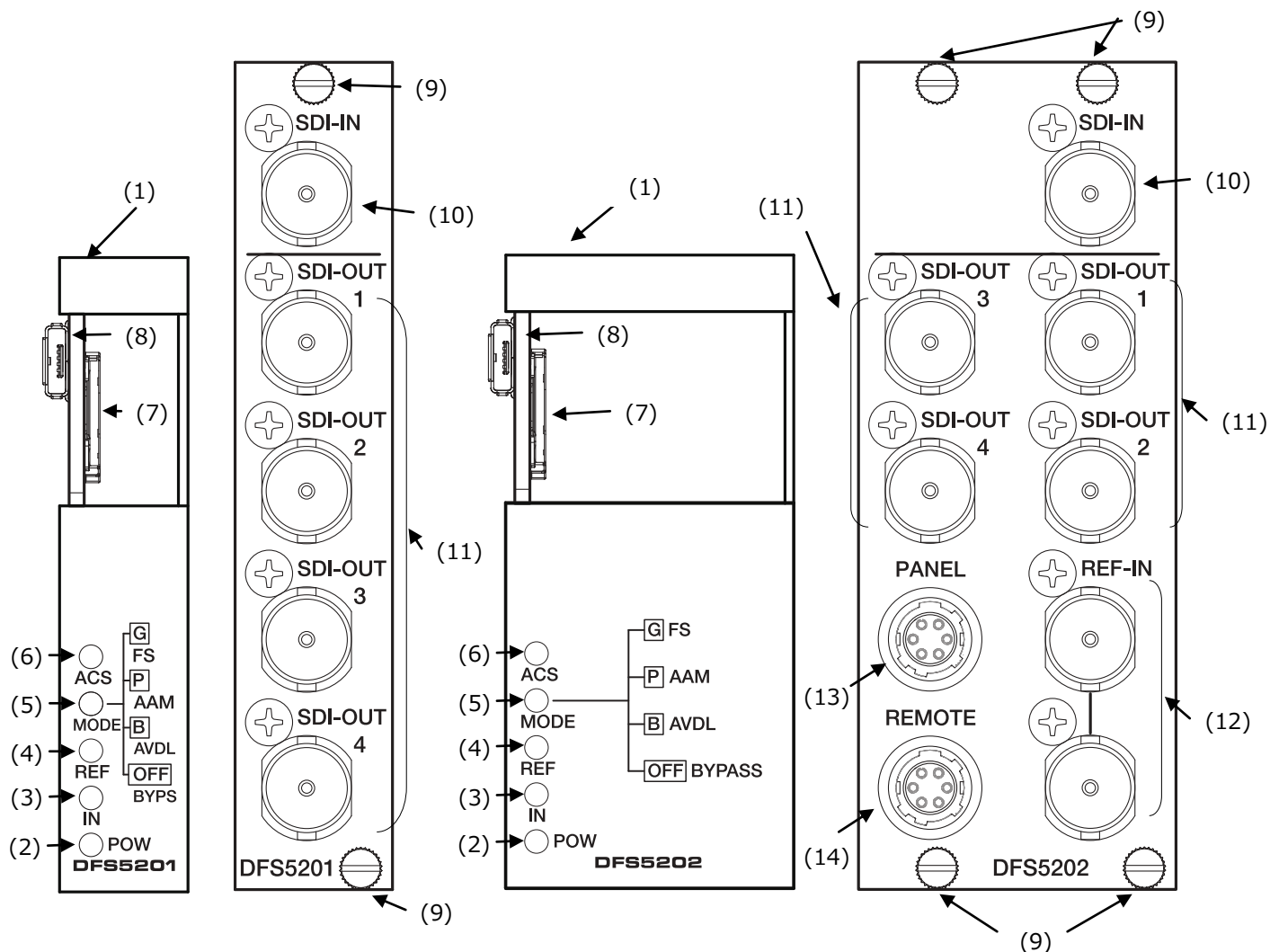
- ・入出力フォーマットが同一時、オーディオ、タイムコード以外のアンシラリデータはすべて通過します。（タイムコードは選択可能）
- ・パラメーターの設定はSD カード内の設定ファイルを直接編集又は、SNMP, WEB より設定します。
- ・各種設定の全項目の設定値と変化時刻、ステータスの変化と変化時刻をログに残し、WEB からダウンロードが可能です。ログは、最新の 10000 件をSD カードに保存しています。
- ・オプションパネル（外部制御パネル：RMT5001-DFS）を接続することができます。
- ・SNMP に対応しています。
- ・スーパーインポーズ用静止画を 4 枚登録でき、そのうちの 1 枚をスーパーインポーズ可能です。スーパーインポーズ時は AVDL モードのみ対応します。静止画は非圧縮 TARGA ファイルのみです。
- ・スーパーインポーズの ON/OFF は GPI 又は WEB で行います。
- ・スーパーインポーズのマスク領域を 4 か所登録でき、GPI 又は WEB で ON/OFF できます。
- ・スーパーインポーズ機能は、オプション機能です。

4. ブロック図



5. 操作説明

5 - 1. フロント、リア入出力及び LED 表示



(1)フロントモジュール引き出し取っ手 (DFS5201,DFS5202 共通)

(2)電源ランプ POW LED 電源投入時 緑点灯 (DFS5201,DFS5202 共通)

(3)入力 1 レート IN LED (DFS5201,DFS5202 共通)

入力 1 信号のレートを LED 点灯色で表示します。

3G-SDI	---- 緑 点灯
HD-SDI	---- 青 点灯
SD-SDI/DVB-ASI	---- 紫 点灯
無信号	---- 消灯 (非対応フォーマット含む)

(4)REF LED (DFS5201,DFS5202 共通)

リファレンス信号の状態を LED で表示します。

リファレンス正常	---- 緑 点灯
リファレンス異常	---- 消灯

(5)MODE LED (DFS5201,DFS5202 共通)

シンクロナイズ動作には 3 つのモードがあり、どのモードに設定されているか LED で表示します。

フレームシンクロナイズ・モード(FS)	----- 緑 点灯
自動音声ミュート・モード(AAM)	----- 紫 点灯
AVDL モード	----- 青 点灯
バイパス・モード	----- 消灯

(6)SD カードアクセス ACS LED (DFS5201,DFS5202 共通)

SD カードのアクセス LED です。各種設定は SD カード内の設定ファイルに記述し、電源投入時、及び SD カード挿入時に SD カードからの設定ファイルの読み出しを行います。SD カードへのアクセス中は赤点灯し、読み出し、設定完了後、設定コマンドにエラーがなければ 1 秒間緑点灯、エラーがあった場合は、1 秒間アンバー点灯します。

(7)SD カードスロット (DFS5201,DFS5202 共通)

設定ファイルを格納する SD カードスロットです。(SD カードはマイクロ SD カードです)

(8)マイクロ A/B USB コネクター (DFS5201,DFS5202 共通)

内蔵プログラムアップデート用の USB コネクターです。(本バージョンでは未対応)

(9)リアモジュール固定ネジ DFS5201 2カ所 DFS5202 4カ所

(10)SDI 入力 SDI-IN1 (DFS5201,DFS5202 共通)

(11)SDI FS 出力 SDI-OUT1~4 (DFS5201,DFS5202 共通)

シンクロナイズされた SDI 出力が 4 分配出力されます。電源オフ時は、SDI 出力 1 に SDI 入力 1 がスルー出力されます。

(12) リファレンス入力 REF-IN (DFS5202)

DFS5202 には、モジュール専用のリファレンス入力とループスルー出力が装備されており、筐体に入力されたリファレンス入力に同期させるか、モジュールに入力されたリファレンスに同期させるか選択することができます。

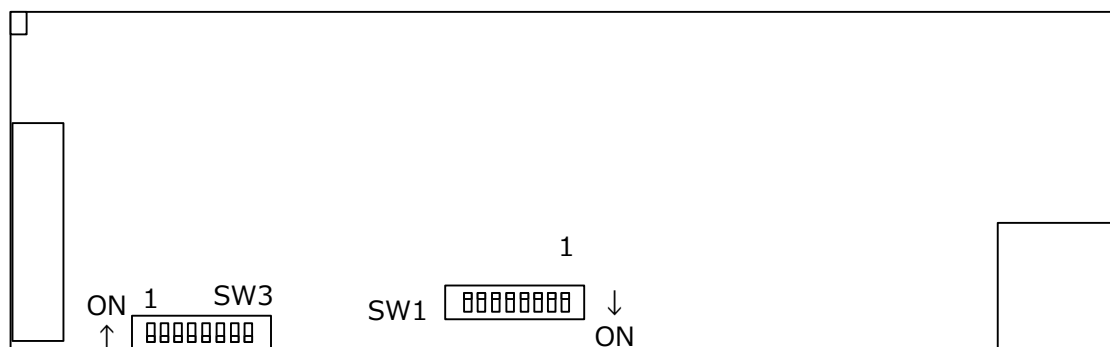
(13)リモートパネル接続コネクター PANEL (DFS5202)

将来リモートパネルを接続するためのコネクターで、現在は未使用です。外部制御パネル RMT5001-DFS はイーサネットでの接続となります。

(14)リモート GPIO コネクター REMOTE (DFS5202)

汎用の GPI2 入力と汎用の GPO2 出力です。プリセットの切替、フリーズ動作、スルー動作、音声ミュート、TC 設定等を行うことができます。

5 - 2. フロントモジュール設定



SW1

ビット	内容
1-8	Reserved (出荷時設定から変更しないでください。)

SW3

ビット	内容
1-6	Reserved (出荷時設定から変更しないでください。)
7	ON=PI 変換有効、OFF=PI 変換無効
8	Reserved (出荷時設定から変更しないでください。)

6. フレームへの取付方法

6-1 DFS5201 “1 スロット”, DFS5202 “2 スロット”以上の空きを確認してリアモジュールを実装します。

6-2 リアモジュールをスロットに挿入してリアモジュール固定ネジを DFS5201 2ヶ所、DFS5202 4ヶ所ネジ止めします。

6-3 リアモジュールのスロット番号を確認して DFS5202 は、若い番号のほうにフロントモジュールを挿入します。(スロット9,10の場合、スロット9に挿入)

7. SNMP

DFS5201/DFS5202 は SNMP による監視が可能です。

DFS5201 は、[1.3.6.1.4.1.47892.2.1.67.]、DFS5202 は[1.3.6.1.4.1.47892.2.1.68.] の後に、以下のオブジェクト識別子を加えて情報を取得します。index はスロット番号で、C5002 では 1～20、C5001 では 1～6 となります。Get/Set 項目の斜体太文字が初期値です。Trap 項目の○は、Get 項目の値が Trap に付加されるオブジェクトであることを示しています。

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
ProductId 10.1.10.index	INTEGER	RO	4	プロダクト ID 情報	DFS5201=67 DFS5202=68	
ProductDescr 10.1.11.index	OCTET STRING	RO	128	プロダクト説明	DFS5201=" DFS5201 : 1 slot 3G/HD/SD-SDI Frame Synchronizer Module" DFS5202=" DFS5202 : 2 slot 3G/HD/SD-SDI Frame Synchronizer Module"	
FwVer 10.1.12.index	OCTET STRING	RO	8	ファームウェアバージョン	—	
HwVer 10.1.13.index	OCTET STRING	RO	8	ハードウェアバージョン	—	
OccupiedSlot 10.1.14.index	INTEGER	RO	4	占有スロット数	DFS5201=1 DFS5202=2	
AliasName 10.1.15.index	OCTET STRING	R/W	128	エイリアス名	—	
SuperOption 10.1.18.index	INTEGER	RO	4	スーパーオプション	disable=1, enable=2	
In1RelayCtl 20.1.100.index	INTEGER	R/W	4	IN1 リレー設定	off=1, on=2	
RefSel 20.1.102.index	INTEGER	R/W	4	リファレンス選択	module=1, frame =2 , freeRun=3, In1=4	
PhaseOffsetH 20.1.103.index	INTEGER	R/W	4	水平方向出力位相	-1920～ 0 ～+1920 (pixel)	
PhaseOffsetV 20.1.104.index	INTEGER	R/W	4	垂直方向出力位相	-600～ 0 ～+600 (line)	
FsMode 20.1.110.index	INTEGER	R/W	4	FS モード	fs=1 , AVDL=2, aam=3, bypass=4	
FreezeCtl 20.1.111.index	INTEGER	R/W	4	フリーズ時の動作制御(OFF は黒画面出力)	off=1, frame=2 , field=3	
AncOut 20.1.112.index	INTEGER	R/W	4	アンシラリイ制御	off=1, on=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
SysFormat 20.1.113.index	INTEGER	R/W	4	システムフォーマット	auto=1 , f525I59=2, f625I50=3, f720P60=4, f720P59=5, f720P50=6, f720P30=7, f720P29=8, f720P25=9, f720P24=10, f720P23=11, f1080I60=12, f1080I59=13, f1080I50=14, f1080P30=15, f1080P29=16, f1080P25=17, f1080P24=18, f1080P23=19, f1080PSF24=20, f1080PSF23=21, f1080P60A=22, f1080P59A=23, f1080P50A=24, f1080P60B=25, f1080P59B=26, f1080P50B=27	
ManualFreeze 20.1.114.index	INTEGER	R/W	4	SNMP 又はリモコンによる出力フリーズ制御	off=1 , on=2	
OutAtcLtcEn 20.1.121.index	INTEGER	R/W	4	出力 ATC(LTC)の有効／無効	off=1 , on=2	
OutAtcVitcEn 20.1.122.index	INTEGER	R/W	4	出力 ATC(VITC)の有効／無効	off=1 , on=2	
TcSel 20.1.123.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC の動作を設定	int=1 , in1Atc=2, LTC=3	
TcOffsetEn 20.1.124.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット制御	off=1 , on=2	
TcOffsetHH 20.1.125.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(時)	0 ~23	
TcOffsetMM 20.1.126.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(分)	0 ~59	
TcOffsetSS 20.1.127.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(秒)	0 ~59	
TcOffsetFR 20.1.128.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(フレーム)	0 ~2~29	
TcLostAction 20.1.129.index	INTEGER	R/W	4	ATC/LTC 信号ロスト時の動作	autoRun=1 , stop=2, noPacket=3, LTC=4	
TcInitHH 20.1.130.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(時)	0 ~23	
TcInitMM 20.1.131.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(分)	0 ~59	
TcInitSS 20.1.132.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(秒)	0 ~59	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
TcInitFR 20.1.133.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(フレーム)	0 ~29	
TcInitBG1 20.1.134.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG1)	0 ~15	
TcInitBG2 20.1.135.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG2)	0 ~15	
TcInitBG3 20.1.136.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG3)	0 ~15	
TcInitBG4 20.1.137.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG4)	0 ~15	
TcInitBG5 20.1.138.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG5)	0 ~15	
TcInitBG6 20.1.139.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG6)	0 ~15	
TcInitBG7 20.1.140.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG7)	0 ~15	
TcInitBG8 20.1.141.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG8)	0 ~15	
TcInitBGF 20.1.142.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG flag)	0 ~7	
TcFrLoadEn 20.1.143.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値フレーム値ロ ード設定	off=1, on=2	
TcDropFrEn 20.1.144.index	INTEGER	R/W	4	ドロップフレームの有効/無効 (自走時のみ有効)	off=1, on=2	
TcInitLoad 20.1.145.index	INTEGER	R/W	4	TC 自走時、初期値のロード設定	off=1 , on=2	
TcRunEn 20.1.146.index	INTEGER	R/W	4	TC 自走開始	off=1 , on=2	
TcSameLost :1 20.1.147.index	INTEGER	R/W	4	同じ TC 検出時ロストと判定する かしないか	off=1, on=2	
TcDfNdfMode :1 20.1.148.index	INTEGER	R/W	4	TC モード設定(TC_SEL= IN1_ATC/LTC のみ有効)	df=1, ndf=2, in=3	
EmbOutG1En 20.1.200.index : EmbOutG8En 20.1.207.index	INTEGER	R/W	4	出力エンベデッドオーディオ グル ープ制御	off=1, on=2 (初期値 G1~G4=on, G5~ G8=off)	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
AmodePchgAuto 20.1.220.index	INTEGER	R/W	4	音声モードによる自動プリセット切替制御	off=1 , on=2	
Preset1M 20.1.221.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p01)	
Preset2M 20.1.222.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 2M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p02)	
Preset3M 20.1.223.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 3M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p03)	
Preset4M 20.1.224.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 4M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p04)	
Preset1S 20.1.225.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1S 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p05)	
Preset2S 20.1.226.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 2S 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p06)	
Preset1S2M 20.1.227.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1S+2M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p07)	
Preset51 20.1.228.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 5.1 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p08)	
Preset51S 20.1.229.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 5.1+S 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p09)	
PresetOther 20.1.230.index	INTEGER	R/W	4	その他の音声モード時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p10)	
Gpi1Func 20.1.240.index	INTEGER	R/W	4	GPI1 機能選択	p01=1~p12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, rmtRecTrig=18, pic1super=20, pic2super=21, pic3super=22, pic4super=23, mask1en=24, mask2en=25, mask3en=26, mask4en=27, non=32	
Gpi2Func 20.1.241.index	INTEGER	R/W	4	GPI2 機能選択	p01=1~p12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, rmtRecTrig=18, pic1super=20, pic2super=21, pic3super=22, pic4super=23, mask1en=24, mask2en=25, mask3en=26, mask4en=27, non=32	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
Gpo1Func 20.1.250.index	INTEGER	R/W	4	GPO1 機能選択	p01=1~p12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, rmtRecTrig=18, , pic1super=20, pic2super=21, pic3super=22, pic4super=23, sdiErr=24, refer=25, ltcErr=26, lineErr=27, non=32	
Gpo2Func 20.1.251.index	INTEGER	R/W	4	GPO2 機能選択	p01=1~p12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, rmtRecTrig=18, , pic1super=20, pic2super=21, pic3super=22, pic4super=23, sdiErr=24, refer=25, ltcErr=26, lineErr=27, non=32	
RmtRecCtl 20.1.260.index	INTEGER	R/W	4	SDI リモート録画制御	off=1 , on=2	
SuperEn 20.1.264.index	INTEGER	R/W	4	スーパー出力	off=1 , on=2	
SuperSel 20.1.265.index	INTEGER	R/W	4	スーパー静止画選択	pic1=1 , pic2=2, pic3=3, pic4=4	
SuperPosX 20.1.266.index	INTEGER	R/W	4	スーパー位置(X)	0 ~1919	
SuperPosY 20.1.267.index	INTEGER	R/W	4	スーパー位置(Y)	0 ~1079	
Mask1En 20.1.274.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 1	off=1 , on=2	
Mask2En 20.1.275.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 2	off=1 , on=2	
Mask3En 20.1.276.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 3	off=1 , on=2	
Mask4En 20.1.277.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 4	off=1 , on=2	
PresetLoad 20.1.280.index	INTEGER	R/W	4	プリセットロード	p01=1~p12=12, non=13	
PresetSave 20.1.281.index	INTEGER	R/W	4	プリセットセーブ	p01=1~p12=12, non=13	
Mask1ULX 20.1.284.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 1 左上(X)	0 ~1919	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
Mask1ULY 20.1.285.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 1 左上(Y)	0~1079	
Mask1DRX 20.1.286.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 1 右下(X)	0~1919	
Mask1DRY 20.1.287.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 1 右下(Y)	0~1079	
Mask2ULX 20.1.288.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 2 左上(X)	0~1919	
Mask2ULY 20.1.289.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 2 左上(Y)	0~1079	
Mask2DRX 20.1.290.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 2 右下(X)	0~1919	
Mask2DRY 20.1.291.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 2 右下(Y)	0~1079	
Mask3ULX 20.1.292.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 3 左上(X)	0~1919	
Mask3ULY 20.1.293.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 3 左上(Y)	0~1079	
Mask3DRX 20.1.294.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 3 右下(X)	0~1919	
Mask3DRY 20.1.295.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 3 右下(Y)	0~1079	
Mask4ULX 20.1.296.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 4 左上(X)	0~1919	
Mask4ULY 20.1.297.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 4 左上(Y)	0~1079	
Mask4DRX 20.1.298.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 4 右下(X)	0~1919	
Mask4DRY 20.1.299.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 4 右下(Y)	0~1079	
CurrentEmb01InGain 20.1.300.index : CurrentEmb32InGain 20.1.331.index	INTEGER	R/W	4	エンベ入力 CH のゲイン調整 (x10dB を設定)	-500~0~500	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentEmb01OutGain 20.1.350.index : CurrentEmb32OutGain 20.1.381.index	INTEGER	R/W	4	エンベ出力 CH のゲイン調整 (x10dB を設定)	-500~ 0 ~500	
CurrentTT1Amp 20.1.400.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 1 振幅(dB)	-63~- 20 ~0	
CurrentTT1Freq 20.1.401.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 1 周波数	f400Hz=1, f800Hz=2, f1kHz=3 , f2kHz=4	
CurrentTT2Amp 20.1.402.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 2 振幅(dB)	-63~- 20 ~0	
CurrentTT2Freq 20.1.403.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 2 周波数	f400Hz=1, f800Hz=2 , f1kHz=3, f2kHz=4	
CurrentRemapCh01 20.1.410.index : CurrentRemapCh32 20.1.441.index	INTEGER	R/W	4	リマップ出力 CH 選択 (外部出力)	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, dmxL=51, dmxR=52, mix1=53~mix8=60, Non=63 (初期値 Ch01~16=ext01~ ext16、Ch17~32=emb17~ emb32)	
CurrentDmxSSelCh01 20.1.500.index : CurrentDmxSSelCh32 20.1.531.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス演算 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, non=63 (初期値 Ch01~32=emb01~ emb32)	
CurrentDmxLCoefCh01 20.1.532.index : CurrentDmxLCoefCh32 20.1.563.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentDmxRCoefCh01 20.1.564.index : CurrentDmxRCoefCh32 20.1.595.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentDmxLSignCh01 20.1.600.index : CurrentDmxLSignCh32 20.1.631.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数 符号	-1, 1	
CurrentDmxRSignCh01 20.1.632.index : CurrentDmxRSignCh32 20.1.663.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数 符号	-1, 1	
CurrentMix1SSelCh01 20.1.700.index : CurrentMix1SSelCh04 20.1.703.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 1 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix1CoefCh01 20.1.704.index : CurrentMix1CoefCh04 20.1.707.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 1 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix2SSelCh01 20.1.710.index : CurrentMix2SSelCh04 20.1.713.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 2 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix2CoefCh01 20.1.714.index : CurrentMix2CoefCh04 20.1.717.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 2 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix3SSelCh01 20.1.720.index : CurrentMix3SSelCh04 20.1.723.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 3 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, mute=63	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentMix3CoefCh01 20.1.724.index : CurrentMix3CoefCh04 20.1.727.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 3 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix4SSelCh01 20.1.730.index : CurrentMix4SSelCh04 20.1.733.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 4 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix4CoefCh01 20.1.734.index : CurrentMix4CoefCh04 20.1.737.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 4 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix5SSelCh01 20.1.740.index : CurrentMix5SSelCh04 20.1.743.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 5 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix5CoefCh01 20.1.744.index : CurrentMix5CoefCh04 20.1.747.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 5 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix6SSelCh01 20.1.750.index : CurrentMix6SSelCh04 20.1.753.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 6 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix6CoefCh01 20.1.754.index : CurrentMix6CoefCh04 20.1.757.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 6 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentMix7SSelCh01 20.1.760.index : CurrentMix7SSelCh04 20.1.763.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 7 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, <i>mute=63</i>	
CurrentMix7CoefCh01 20.1.764.index : CurrentMix7CoefCh04 20.1.767.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 7 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, <i>Zero=-127</i>	
CurrentMix8SSelCh01 20.1.770.index : CurrentMix8SSelCh04 20.1.773.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 8 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, <i>mute=63</i>	
CurrentMix8CoefCh01 20.1.774.index : CurrentMix8CoefCh04 20.1.777.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 8 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, <i>Zero=-127</i>	
CurrentAudioDelay 20.1.780.index	INTEGER	R/W	4	音声遅延(ms)	0~ <i>32</i> ~2000	
CurrentLuminance 20.1.790.index	INTEGER	R/W	4	輝度設定(%) X10 倍の値を設定	0~ <i>1000</i> ~2000	
CurrentSaturation 20.1.791.index	INTEGER	R/W	4	彩度設定(%) X10 倍の値を設定	0~ <i>1000</i> ~2000	
CurrentHue 20.1.792.index	INTEGER	R/W	4	色相設定(度) X10 倍の値を設定	-1800~ <i>0</i> ~1800	
AlarmEnIntComm 20.1.800.index	INTEGER	R/W	4	内部バス通信エラーアラームイネーブル	<i>disable=1</i> , enable=2	
AlarmEnSDIIn1Unlock 20.1.802.index	INTEGER	R/W	4	SDI IN1 アンロックアラームイネーブル	<i>disable=1</i> , enable=2	
AlarmEnRefUnlock 20.1.804.index	INTEGER	R/W	4	REF アンロックアラームイネーブル	<i>disable=1</i> , enable=2	
AlarmEnLtcUnlock 20.1.805.index	INTEGER	R/W	4	LTC アンロックアラームイネーブル	<i>disable=1</i> , enable=2	
TrapEnSDIIn1Unlock 20.1.851.index	INTEGER	R/W	4	SDI IN1 アンロックトラップイネーブル	<i>disable=1</i> , enable=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
TrapEnRefUnlock 20.1.853.index	INTEGER	R/W	4	REF アンロックラップイネーブル	disable=1 , enable=2	
TrapEnLtcUnlock 20.1.854.index	INTEGER	R/W	4	LTC アンロックラップイネーブル	disable=1 , enable=2	
SetDefault 20.1.900.index	INTEGER	R/W	4	デフォルト設定に戻す	no=1 , yes=2	
ConfigFileWrite 20.1.901.index	INTEGER	R/W	4	現在の設定をコンフィグ設定ファイルに書き込む	no=1 , yesP01=2~yesP12=13	
AllowReboot 28.1.910.index	INTEGER	R/W	4	リブート許可	no=1 , yes=2	
Reboot 28.1.911.index	INTEGER	R/W	4	リブート実行	no=1 , yes=2	
LogCount 29.1.10.index	INTEGER	RO	4	ログ件数	0~10000	
LogUpdateTime 29.1.11.index	INTEGER	RO	4	ログ変更時刻	—	
LogReset 29.1.900.index	INTEGER	R/W	4	ログファイル初期化	no=1 , yes=2	
In1 30.1.100.index	INTEGER	RO	4	SDI In1 のステータス	unlock=1, f525I59=2, f625I50=3, f720P60=4, f720P59=5, f720P50=6, f720P30=7, f720P29=8, f720P25=9, f720P24=10, f720P23=11, f1080I60=12, f1080I59=13, f1080I50=14, f1080P30=15, f1080P29=16, f1080P25=17, f1080P24=18, f1080P23=19, f1080PSF24=20, f1080PSF23=21, f1080P60A=22, f1080P59A=23, f1080P50A=24, f1080P60B=25, f1080P59B=26, f1080P50B=27	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
Ref 30.1.102.index	INTEGER	RO	4	REF のステータス	unlock=1, f525I59=2, f625I50=3, f720P60=4, f720P59=5, f720P50=6, f720P30=7, f720P29=8, f720P25=9, f720P24=10, f720P23=11, f1080I60=12, f1080I59=13, f1080I50=14, f1080P30=15, f1080P29=16, f1080P25=17, f1080P24=18, f1080P23=19, f1080PSF24=20, f1080PSF23=21	
Dipsw1 30.1.103.index	INTEGER	RO	4	Dipsw1 の設定 ON=1、OFF=0	0～255	
Dipsw3 30.1.103.index	INTEGER	RO	4	Dipsw3 の設定 ON=1、OFF=0	0～255	
AlarmIntCommErr 30.1.201.index	INTEGER	RO	4	内部バス通信エラーアラームステータス	noErr=1, err=2	
AlarmSdiIn1Unlock 30.1.202.index	INTEGER	RO	4	SDI In1 アンロックアラームステータス	lock=1, unlock=2	○
AlarmRefUnlock 30.1.204.index	INTEGER	RO	4	Ref アンロックアラームステータス	lock=1, unlock=2	○
AlarmLtcUnlock 30.1.205.index	INTEGER	RO	4	LTC アンロックアラームステータス ※1	lock=1, unlock=2	○
ErrInfo 30.1.206.index	INTEGER	RO	4	内部エラー情報ステータス	0x00000000～0xffffffff	

トラップオブジェクト識別子は、DFS5201 は[1.3.6.1.4.1.47892.1.1.67.0.]、DFS5202 は[1.3.6.1.4.1.47892.1.1.68.0.]
の後に、以下のオブジェクト識別子でトラップが発行されます。各トラップは、index(Slot 情報)を持つ SNMP 設定情報が添付されます。

Trap 番号	内容
TrapSDIInLock 1	SDI In がロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmSDIIn1Unlock (30.1.202.index)
TrapRefLock 2	リファレンスがロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmRefUnlock (30.1.204.index)
TrapLtcLock 4	LTC がロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmLtcUnlock (30.1.205.index)
TrapSDIInUnlock 101	SDI In がアンロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmSDIIn1Unlock (30.1.202.index)
TrapRefUnlock 102	リファレンスがアンロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmRefUnlock (30.1.204.index)
TrapLtcUnlock 104	LTC がアンロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmLtcUnlock (30.1.205.index)

8. コンフィグ設定ファイル・フォーマット

SD カードに“DFS5000_comm.cfg”のファイル名で格納されているファイルがプリセット共通コンフィグ設定ファイルです。“DFS5000_P01.cfg”～“DFS5000_P12.cfg”のファイル名で格納されているファイルがプリセット毎のコンフィグ設定ファイルです。1 行 1 パラメーターとなっており、設定コマンド、パラメータの順に記載します。//以降はコメントとして扱われます。なお、SD カードをフロントモジュールに差し込み、CPU がアクセスすると SD カードアクセス LED がアクセス中、赤点灯します。読み込みエラーがなかった場合は、SD カードアクセス LED が 1 秒間緑点灯し、読み込みエラーがあった場合は、1 秒間紫点灯します。

記述例)

IN1_RL ON // IN1 Relay ON/OFF ON:通常、OFF:スルー

以下に、“DFS5000_comm.cfg”の設定コマンド一覧を示します。下記以外のコマンドは無効となり、動作には影響を与えません。

設定コマンド	内容	設定パラメーター	Default
IN1_RL	IN1 リレー設定	ON:通常、OFF:スルー	ON
REF_SEL	リファレンス選択	MODULE/FRAME/FREERUN/IN1	FRAME
PHASE_OFFSET_H	水平方向出力位相	-1920～+1920 (pixel)	0
PHASE_OFFSET_V	垂直方向出力位相	-600～+600 (line)	0
FS_MODE	FS モード	FS/AVDL/AAM/BYPASS	FS
FREEZE_CTL	フリーズ時の動作制御(OFF は黒画面出力)	FRAME/FIELD/OFF	FRAME
ANC_OUT	アンシラリイ制御	ON:全て通過、OFF:Audio のみ通過	ON
SYSFORMAT	システムフォーマット	AUTO/525I59/625I50/720P60/ 720P59/720P50/720P30/ 720P29/720P25/720P24/ 720P23/1080I60/1080I59/ 1080I50/1080P30/1080P29/ 1080P25/1080P24/1080P23/ 1080PSF24/1080PSF23/ 1080P60A/1080P59A/ 1080P50A/1080P60B/ 1080P59B/1080P50B	AUTO
TC_OFFSET_EN	内蔵 TC のオフセット制御(TC_SEL=IN1_ATC/LTC 時のみ有効)	ON:イネーブル、OFF:ディスエーブル	OFF
TC_OFFSET_HH	内蔵 TC のオフセット値(時)	0～23	0
TC_OFFSET_MM	内蔵 TC のオフセット値(分)	0～59	0
TC_OFFSET_SS	内蔵 TC のオフセット値(秒)	0～59	0
TC_OFFSET_FR	内蔵 TC のオフセット値(フレーム)	0～29	2

設定コマンド	内容	設定パラメーター	Default
TC_INIT_HH	内蔵 TC への初期値(時)	0~23	0
TC_INIT_MM	内蔵 TC への初期値(分)	0~59	0
TC_INIT_SS	内蔵 TC への初期値(秒)	0~59	0
TC_INIT_FR	内蔵 TC への初期値(フレーム)	0~29	0
TC_INIT_BG1	内蔵 TC への初期値(BG1)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG2	内蔵 TC への初期値(BG2)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG3	内蔵 TC への初期値(BG3)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG4	内蔵 TC への初期値(BG4)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG5	内蔵 TC への初期値(BG5)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG6	内蔵 TC への初期値(BG6)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG7	内蔵 TC への初期値(BG7)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG8	内蔵 TC への初期値(BG8)	0x0~0xf	0x0
TC_FR_LOAD_EN	内蔵 TC への初期値フレーム値ロード設定	ON:ロード、OFF:ロードしない	OFF
TC_DROP_FR_EN	ドロップフレームの有効／無効（自走時のみ有効）	ON:有効、OFF:無効	ON
TC_DF_NDF_MODE *1	TC モード設定(TC_SEL=IN1_ATC/LTCのみ有効)	NDF:常に NDF で動作、DF:常に DF で動作、IN:入力に連動	IN
TC_LOST_ACTION	ATC/LTC 信号ロスト時の動作	AUTO_RUN/STOP/NO_PACKET /LTC(*1)	AUTO_RUN
TC_SAME_LOST *1	同じ TC 検出時ロストと判定するかしないか	ON:ロストと判定、OFF:ロストと判定しない	ON
TC_SEL	内蔵 TC の動作を設定	IN1_ATC(入力 1 の ATC スル -)/LTC/INT	INT
TC_INIT_LOAD	TC 自走時、初期値をロード設定	ON:ロード、OFF:ロードしない	OFF
TC_RUN_EN	TC 自走開始	ON:自走、OFF:停止	OFF
OUT_ATC_LTC_EN	出力 ATC(LTC)の有効／無効	ON:有効、OFF:無効	OFF
OUT_ATC_VITC_EN	出力 ATC(VITC)の有効／無効	ON:有効、OFF:無効	OFF
EMB_OUT_G1_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 1 制御	ON:出力、OFF:未出力	ON
EMB_OUT_G2_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 2 制御	ON:出力、OFF:未出力	ON
EMB_OUT_G3_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 3 制御	ON:出力、OFF:未出力	ON
EMB_OUT_G4_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 4 制御	ON:出力、OFF:未出力	ON
EMB_OUT_G5_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 5 制御	ON:出力、OFF:未出力	OFF
EMB_OUT_G6_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 6 制御	ON:出力、OFF:未出力	OFF
EMB_OUT_G7_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 7 制御	ON:出力、OFF:未出力	OFF
EMB_OUT_G8_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 8 制御	ON:出力、OFF:未出力	OFF
AMODE_PCHG_AUTO	音声モードによる自動プリセット切り替え制御	ON:有効、OFF:無効	OFF
1M_PRESET	音声モード 1M 時のプリセット	P01~P12	P01
2M_PRESET	音声モード 2M 時のプリセット	P01~P12	P02

*1 : SW:v1.2.6,HW:v1.2.0 以降で有効

設定コマンド	内容	設定パラメーター	Default
3M_PRESET	音声モード 3M 時のプリセット	P01～P12	P03
4M_PRESET	音声モード 4M 時のプリセット	P01～P12	P04
1S_PRESET	音声モード 1S 時のプリセット	P01～P12	P05
2S_PRESET	音声モード 2S 時のプリセット	P01～P12	P06
1S+2M_PRESET	音声モード 1S+2M 時のプリセット	P01～P12	P07
5.1_PRESET	音声モード 5.1 時のプリセット	P01～P12	P08
5.1+S_PRESET	音声モード 5.1+S 時のプリセット	P01～P12	P09
OTHER_PRESET	その他の音声モード時のプリセット	P01～P12	P10
GPI1_FUNC	GPI1 機能選択	P01～P12/FREEZE/THROUGH/ MUTE_ON/TC_SET/ RMT_REC_TRIG/ PIC1_SUPER..PIC4_SUPER/ MASK1_EN..MASK4_EN/NON	NON
GPI2_FUNC	GPI2 機能選択	P01～P12/FREEZE/THROUGH/ MUTE_ON/TC_SET/ RMT_REC_TRIG/ PIC1_SUPER..PIC4_SUPER/ MASK1_EN..MASK4_EN/NON	NON
GPO1_FUNC	GPO1 機能選択	P01～P12/FREEZE/THROUGH/ MUTE_ON/TC_SET/ RMT_REC_TRIG/SDI_ERR/ REF_ERR/LTC_ERR/LINE_ERR/ PIC1_SUPER..PIC4_SUPER/ NON	NON
GPO2_FUNC	GPO2 機能選択	P01～P12/FREEZE/THROUGH/ MUTE_ON/TC_SET/ RMT_REC_TRIG/SDI_ERR/ REF_ERR/LTC_ERR/LINE_ERR/ PIC1_SUPER..PIC4_SUPER/ NON	NON
RMT_REC_EN	SDI リモート録画機能	ON:有効、OFF:無効	OFF
SUPER_EN	スーパー出力	ON:有効、OFF:無効	OFF
SUPER_SEL	スーパー画像選択	PIC1/PIC2/PIC3/PIC4	PIC1
SUPER_POS_X	スーパー位置(X)	0～1919	0
SUPER_POS_Y	スーパー位置(Y)	0～1079	0
MASK1_UL_X	スーパーマスク 1 左上(X)	0～1919	0
MASK1_UL_Y	スーパーマスク 1 左上(Y)	0～1079	0
MASK1_DR_X	スーパーマスク 1 右下(X)	0～1919	0
MASK1_DR_Y	スーパーマスク 1 右下(Y)	0～1079	0

設定コマンド	内容	設定パラメーター	Default
MASK2_UL_X	スーパーマスク 2 左上(X)	0～1919	0
MASK2_UL_Y	スーパーマスク 2 左上(Y)	0～1079	0
MASK2_DR_X	スーパーマスク 2 右下(X)	0～1919	0
MASK2_DR_Y	スーパーマスク 2 右下(Y)	0～1079	0
MASK3_UL_X	スーパーマスク 3 左上(X)	0～1919	0
MASK3_UL_Y	スーパーマスク 3 左上(Y)	0～1079	0
MASK3_DR_X	スーパーマスク 3 右下(X)	0～1919	0
MASK3_DR_Y	スーパーマスク 3 右下(Y)	0～1079	0
MASK4_UL_X	スーパーマスク 4 左上(X)	0～1919	0
MASK4_UL_Y	スーパーマスク 4 左上(Y)	0～1079	0
MASK4_DR_X	スーパーマスク 4 右下(X)	0～1919	0
MASK4_DR_Y	スーパーマスク 4 右下(Y)	0～1079	0
MASK1_EN	スーパーマスク 1	ON:有効、OFF:無効	OFF
MASK2_EN	スーパーマスク 2	ON:有効、OFF:無効	OFF
MASK3_EN	スーパーマスク 3	ON:有効、OFF:無効	OFF
MASK4_EN	スーパーマスク 4	ON:有効、OFF:無効	OFF
PRESET_UPDATE	プリセットファイルを EEPROM にアップデートするかしないか。音声モードによるプリセット切り換えしない場合は OFF を選択	ON:アップデート、OFF:アップデートしない	OFF

以下に、“DFS5000_P01.cfg”～“DFS5000_P12.cfg”の設定コマンド一覧を示します。

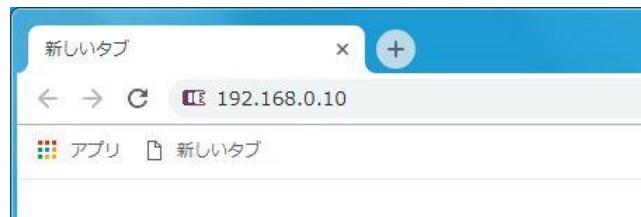
設定コマンド	内容	設定パラメーター	Default
EMB01IN_GAIN : EMB32IN_GAIN	エンベ入力 CH のゲイン調整 (0.1dB ステップ)	-50.0～+50.0	0
EMB01OUT_GAIN : EMB32OUT_GAIN	エンベ出力 CH のゲイン調整 (0.1dB ステップ)	-50.0～+50.0	0
TT1_AMP	テストトーン 1 振幅(1dB ステップ)	0～63 (dBFS)	-20

設定コマンド	内容	設定パラメーター	Default
TT1_FREQ	テストトーン 1 周波数	400/800/1000/2000 (Hz)	1000
TT2_AMP	テストトーン 2 振幅(1dB ステップ)	0~-63 (dBFS)	-20
TT2_FREQ	テストトーン 2 周波数	400/800/1000/2000 (Hz)	800
REMAP_CH01 : REMAP_CH32	リマップ出力 CH 選択	EMB01~EMB32/ TT1/TT2/ DMX_L/DMX_R/MIX1~MIX8/ MUTE	EMB01 : EMB32
DMX_SSEL_CH01 : DMX_SSEL_CH32	ダウンミックス演算 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ TT1/TT2/MUTE	EMB01~ EMB32
DMX_LCOEF_CH01 : DMX_LCOEF_CH32	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数 (0.1dB ステップ)	0~-12.6, ZERO (dB)	ZERO
DMX_RCOEF_CH01 : DMX_RCOEF_CH32	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数 (0.1dB ステップ)	0~-12.6, ZERO (dB)	ZERO
DMX_LSIGN_CH01 : DMX_LSIGN_CH32	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数符号	+1/-1	1
DMX_RSIGN_CH01 : DMX_RSIGN_CH32	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数符号	+1/-1	1
MIX1_SSEL_CH01 : MIX1_SSEL_CH04	音声ミックス 1 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX1_COEF_CH01 : MIX1_COEF_CH04	音声ミックス 1 CH 係数	0~-12.6, ZERO (dB)	ZERO
MIX2_SSEL_CH01 : MIX2_SSEL_CH04	音声ミックス 2 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX2_COEF_CH01 : MIX2_COEF_CH04	音声ミックス 2 CH 係数	0~-12.6, ZERO (dB)	ZERO
MIX3_SSEL_CH01 : MIX3_SSEL_CH04	音声ミックス 3 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE

設定コマンド	内容	設定パラメーター	Default
MIX3_COEF_CH01 : MIX3_COEF_CH04	音声ミックス 3 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX4_SSEL_CH01 : MIX4_SSEL_CH04	音声ミックス 4 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX4_COEF_CH01 : MIX4_COEF_CH04	音声ミックス 4 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX5_SSEL_CH01 : MIX5_SSEL_CH04	音声ミックス 5 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX5_COEF_CH01 : MIX5_COEF_CH04	音声ミックス 5 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX6_SSEL_CH01 : MIX6_SSEL_CH04	音声ミックス 6 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX6_COEF_CH01 : MIX6_COEF_CH04	音声ミックス 6 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX7_SSEL_CH01 : MIX7_SSEL_CH04	音声ミックス 7 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX7_COEF_CH01 : MIX7_COEF_CH04	音声ミックス 7 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX8_SSEL_CH01 : MIX8_SSEL_CH04	音声ミックス 8 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX8_COEF_CH01 : MIX8_COEF_CH04	音声ミックス 8 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
AUDIO_DELAY	音声遅延(1ms ステップ)	0~2000 (ms)	32
LUMINANCE	輝度設定(0.1%ステップ)	0~200.0 (%)	100.0
SATURATION	彩度設定(0.1%ステップ)	0~200.0 (%)	100.0
HUE	色相設定(0.1 度ステップ)	-180.0~180.0 (度)	0.0

9. WebControl

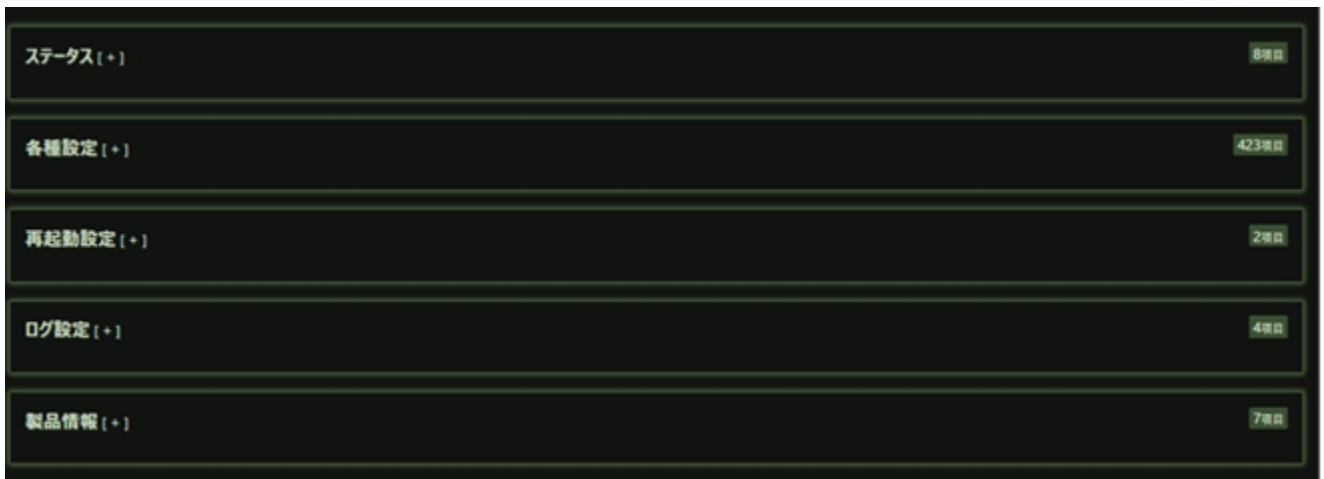
WEB から、全ての設定を確認、変更できます。Google Chrome で IP アドレスを入力して、WebControl に接続します。
C5002-20/C5001-20 フレームの IP アドレス出荷時設定は、“192.168.0.10”です。



詳細な操作方法は 93-10092 「WebControl 取扱説明書」を参照してください。

9 – 1. モジュール画面

DFS5201/DFS5202 が挿入されたスロットをクリックするとモジュール画面が表示されます。（DFS5201 の表示例）



‘+’マークをクリックすることにより、各設定が表示されます。以下に各項目の説明を記載します。

9 – 2. ステータス

ステータスには各種モジュールの状態が表示されます。



9 – 2 – 1. SDI 入力 1

SDI 入力 1 に入力されている信号のフォーマットを表示します。unlock /525I59 /625I50 /720P60 /720P59 /720P50 /720P30 /720P29 /720P25 /720P24 /720P23 /1080I60 /1080i59 /1080I50 /1080P30 /1080P29 /1080P25 /1080P24 /1080P23 /1080PSF24 /1080PSF23 /1080P60A /1080P59A /1080P50A /1080P60B /1080P59B /1080P50B と表示されます。

9 – 2 – 2. リファレンス

リファレンスに入力されている信号のフォーマットを表示します。unlock /525I59 /625I50 /720P60 /720P59 /720P50 /720P30 /720P29 /720P25 /720P24 /720P23 /1080I60 /1080i59 /1080I50 /1080P30 /1080P29 /1080P25 /1080P24 /1080P23 /1080PSF24 /1080PSF23 と表示されます。

9-2-3. Dipsw1

Dipsw1 の設定を 16 進数で表示します。ON が 1, OFF が 0 です。

9-2-4. Dipsw3

Dipsw3 の設定を 16 進数で表示します。ON が 1, OFF が 0 です。

9-2-5. 内部バス通信エラー

内部バスの通信が停止したときにエラーと赤点灯します。エラーがない場合はエラー無しと緑点灯します。

9-2-6. SDI 入力 1 アンロックエラー

SDI 入力 1 がロック（緑点灯）か、アンロック（赤点灯）かを表示します。

9-2-7. リファレンスアンロックエラー

リファレンスがロック（緑点灯）か、アンロック（赤点灯）かを表示します。

9-2-8. LTC アンロックエラー

LTC がロック（緑点灯）か、アンロック（赤点灯）かを表示します。

9 - 3. 各種設定

各種設定には、モジュールに設定できる項目が表示されます。

各項目は、プルダウンメニューにより設定できるパラメーターを選択するか、値を直接入力することにより設定します。入力した時点で、モジュールには設定が反映されます。ただし、SD カードには設定が保存されませんので、全ての設定が終了後、コンフィグファイルへの書き込みを明示的に行ってください。

各種設定 [-]										424項目
☐ 入力リレー切替	オン:通常動作	☐ リファレンス選択	フレーム	☐ 水平位相	0	☐ 垂直位相	0			
☐ FSモード	fr:フレームシンクロナ	☐ フリーズ動作	フレーム	☐ アンサンブリー出力	オン	☐ システムフォーマット	Auto			
☐ マニュアルブリーズ	オフ	☐ ATC(LTC)出力	オフ	☐ ATC(VITC)出力	オフ	☐ TC選択	内部TC			
☐ ATC/LTC 内蔵TCオフセット制御	オフ	☐ ATC/LTC 内蔵TCオフセット(時)	0	☐ ATC/LTC 内蔵TCオフセット(分)	0	☐ ATC/LTC 内蔵TCオフセット(秒)	0			
☐ ATC/LTC 内蔵TCオフセット(フレーム)	2	☐ TCDスト時動作	自走	☐ 内蔵TC初期値(時)	0	☐ 内蔵TC初期値(分)	0			
☐ 内蔵TC初期値(秒)	0	☐ 内蔵TC初期値(フレーム)	0	☐ 内蔵TC初期値(BG1)	0	☐ 内蔵TC初期値(BG2)	0			
☐ 内蔵TC初期値(BG3)	0	☐ 内蔵TC初期値(BG4)	0	☐ 内蔵TC初期値(BG5)	0	☐ 内蔵TC初期値(BG6)	0			
☐ 内蔵TC初期値(BG7)	0	☐ 内蔵TC初期値(BG8)	0	☐ 内蔵TC初期値(BGフラグ)	0	☐ 内蔵TCフレーム初期値ロード設定	オフ			
☐ 内蔵TCドロップフレーム設定	オン	☐ 内蔵TC初期値ロード設定	オフ	☐ 内蔵TC自走開始設定	オフ	☐ 同TC検出時ロスト判定設定	オン			
☐ ATC/LTC TCモード設定	入力追従モード	☐ エンベデッドオーディオ グループ 1 出力	オン	☐ エンベデッドオーディオ グループ 2 出力	オン	☐ エンベデッドオーディオ グループ 3 出力	オン			
☐ エンベデッドオーディオ グループ 4 出力	オン	☐ エンベデッドオーディオ グループ 5 出力	オフ	☐ エンベデッドオーディオ グループ 6 出力	オフ	☐ エンベデッドオーディオ グループ 7 出力	オフ			
☐ エンベデッドオーディオ グループ 8 出力	オフ	☐ 音声モード自動プリセット切替設定	オフ	☐ 音声モード1M時 プリセット値	プリセット01	☐ 音声モード2M時 プリセット値	プリセット02			
☐ 音声モード3M時 プリセット値	プリセット03	☐ 音声モード4M時 プリセット値	プリセット04	☐ 音声モード15時 プリセット値	プリセット05	☐ 音声モード25時 プリセット値	プリセット06			
☐ 音声モード15+2M時 プリセット値	プリセット07	☐ 音声モード5.1時 プリセット値	プリセット08	☐ 音声モード5.1+5時 プリセット値	プリセット09	☐ その他音声モード時 プリセット値	プリセット10			
☐ GPI1 機能選択	なし	☐ GPI2 機能選択	なし	☐ GPO1 機能選択	なし	☐ GPO2 機能選択	なし			
☐ SDIリモート録画制御	オフ	☐ スーパー出力	オフ	☐ スーパー静止画選択	Picture1	☐ スーパー位置(X)	0			
☐ スーパー位置(Y)	0	☐ スーパーマスク1 制御	オフ	☐ スーパーマスク2 制御	オフ	☐ スーパーマスク3 制御	オフ			
☐ スーパーマスク4 制御	オフ	☐ スーパーマスク1 左上(X)	0	☐ スーパーマスク1 左上(Y)	0	☐ スーパーマスク1 右下(X)	0			
☐ スーパーマスク1 右下(Y)	0	☐ スーパーマスク2 左上(X)	0	☐ スーパーマスク2 左上(Y)	0	☐ スーパーマスク2 右下(X)	0			
☐ スーパーマスク2 右下(Y)	0	☐ スーパーマスク3 左上(X)	0	☐ スーパーマスク3 左上(Y)	0	☐ スーパーマスク3 右下(X)	0			
☐ スーパーマスク3 右下(Y)	0	☐ スーパーマスク4 左上(X)	0	☐ スーパーマスク4 左上(Y)	0	☐ スーパーマスク4 右下(X)	0			
☐ スーパーマスク4 右下(Y)	0	☐ プリセット ロード	いいえ	☐ プリセット セーブ	いいえ	☐ エンベデッドCH01 入力ゲイン(*0.1dB)	0			
				更新	更新					
☐ エンベデッドCH02 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH03 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH04 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH05 入力ゲイン(*0.1dB)	0			
☐ エンベデッドCH06 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH07 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH08 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH09 入力ゲイン(*0.1dB)	0			
☐ エンベデッドCH10 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH11 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH12 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH13 入力ゲイン(*0.1dB)	0			
☐ エンベデッドCH14 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH15 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH16 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH17 入力ゲイン(*0.1dB)	0			
☐ エンベデッドCH18 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH19 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH20 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH21 入力ゲイン(*0.1dB)	0			
☐ エンベデッドCH22 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH23 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH24 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH25 入力ゲイン(*0.1dB)	0			
☐ エンベデッドCH26 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH27 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH28 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH29 入力ゲイン(*0.1dB)	0			
☐ エンベデッドCH30 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH31 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH32 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH01 出力ゲイン(*0.1dB)	0			
☐ エンベデッドCH02 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH03 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH04 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH05 出力ゲイン(*0.1dB)	0			
☐ エンベデッドCH06 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH07 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH08 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH09 出力ゲイン(*0.1dB)	0			
☐ エンベデッドCH10 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH11 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH12 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH13 出力ゲイン(*0.1dB)	0			
☐ エンベデッドCH14 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH15 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH16 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH17 出力ゲイン(*0.1dB)	0			
☐ エンベデッドCH18 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH19 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH20 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH21 出力ゲイン(*0.1dB)	0			
☐ エンベデッドCH22 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH23 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH24 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH25 出力ゲイン(*0.1dB)	0			
☐ エンベデッドCH26 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH27 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH28 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH29 出力ゲイン(*0.1dB)	0			
☐ エンベデッドCH30 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH31 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH32 出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ テストトーン1 振幅(dBFS)	-20			
☐ テストトーン1 周波数	1kHz	☐ テストトーン2 振幅(dBFS)	-20	☐ テストトーン2 周波数	800Hz	☐ リマップ出力CH01	Emblin CH01			
☐ リマップ出力CH02	Emblin CH02	☐ リマップ出力CH03	Emblin CH03	☐ リマップ出力CH04	Emblin CH04	☐ リマップ出力CH05	Emblin CH05			
☐ リマップ出力CH06	Emblin CH06	☐ リマップ出力CH07	Emblin CH07	☐ リマップ出力CH08	Emblin CH08	☐ リマップ出力CH09	Emblin CH09			

[illegible]

☐ 音声ミックス1 CH02ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス1 CH03ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス1 CH04ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス1 CH01演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス1 CH02演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス1 CH03演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス1 CH04演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス2 CH01ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス2 CH02ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス2 CH03ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス2 CH04ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス2 CH01演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス2 CH02演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス2 CH03演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス2 CH04演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス3 CH01ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス3 CH02ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス3 CH03ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス3 CH04ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス3 CH01演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス3 CH02演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス3 CH03演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス3 CH04演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス4 CH01ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス4 CH02ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス4 CH03ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス4 CH04ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス4 CH01演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス4 CH02演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス4 CH03演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス4 CH04演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス5 CH01ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス5 CH02ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス5 CH03ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス5 CH04ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス5 CH01演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス5 CH02演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス5 CH03演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス5 CH04演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス6 CH01ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス6 CH02ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス6 CH03ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス6 CH04ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス6 CH01演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス6 CH02演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス6 CH03演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス6 CH04演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス7 CH01ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス7 CH02ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス7 CH03ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス7 CH04ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス7 CH01演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス7 CH02演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス7 CH03演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス7 CH04演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス8 CH01ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス8 CH02ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス8 CH03ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス8 CH04ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス8 CH01演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス8 CH02演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス8 CH03演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス8 CH04演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声遅延(ms)	32
☐ 輝度(*0.1%)	1000	☐ 彩度(*0.1%)	1000	☐ 色相(*0.1°)	0	☐ アラーム設定 @ 内部バス通信エラー	無効
☐ アラーム設定 @ SDI入力1アノログエラー	無効	☐ アラーム設定 @ リファレンスアノログエラー	無効	☐ アラーム設定 @ LTCアノログエラー	無効	☐ トラップ設定 @ SDI入力1アノログエラー	無効
☐ トラップ設定 @ リファレンスアノログエラー	無効	☐ トラップ設定 @ LTCアノログエラー	無効	☐ 初期設定に戻す	戻る	☐ 現設定をコンフィグファイルにセーブ	いいえ
						更新	

9-3-1. 入力1リレー

SDI 入力 1 のリレーの設定です。オンで SDI 受信状態となり、オフで SDI 入力 1 を SDI 出力 1 にバイパス出力します。

9-3-2. リファレンス選択

リファレンス信号を、モジュール、フレーム、フリーラン、入力 1 から選択します。

9-3-3. 水平位相

リファレンスに対する SDI 出力の水平位相を設定します。設定範囲は、-1920 ピクセル～1920 ピクセルで、1 ピクセル単位で設定できます。

9-3-4. 垂直位相

リファレンスに対する SDI 出力の垂直位相を設定します。設定範囲は、-600 ライン～600 ラインで、1 ライン単位で設定できます。

9-3-5. FS モード

FS モードを、フレームシンクロナイズ・モード、AVDL モード、自動音声ミュート・モード、バイパス・モードから選択します。

9-3-6. フリーズ動作

FS モードが、フレームシンクロナイズ・モード又は、自動音声ミュート・モードの場合にフリーズするときの動作を、オフ、フレーム、フィールドから選択します。

9-3-7. アンシラリー出力

入力されたアンシラリーを出力するか、出力しないかを設定します。オンで出力、オフで出力しません。

エンベデッド音声と、アンシラリータイムコードは、本設定に関係なく、別途出力設定ができます。

9-3-8. システムフォーマット

システム（出力）フォーマットを設定します。AUTO /525I59 /625I50 /720P60 /720P59 /720P50 720P30 /720P29 /720P25 /720P24 /720P23 /1080I60 /1080I59 /1080I50 /1080P30 /1080P29 /1080P25 /1080P24 /1080P23 /1080PSF24 /1080PSF23 /1080P60A /1080P59A /1080P50A /1080P60B /1080P59B /1080P50B

が設定でき、AUTO に設定すると入力信号フォーマットに合わせて出力フォーマットが変化します。個別フォーマットを設定した場合は、入力信号フォーマットに関係なく設定したフォーマットで出力します。

9-3-9. マニュアルフリーズ

SNMP 又はリモコンにより出力フリーズの制御を行います。オンで出力フリーズし、オフで通常動作となります。

9-3-10. ATC(LTC)出力

LTC アンシラリータイムコードの出力を設定します。オンで出力し、オフで出力しません。

9-3-11. ATC(VITC)出力

VITC アンシラリータイムコードの出力を設定します。オンで出力し、オフで出力しません。

9-3-12. タイムコード選択

タイムコードを、内部 TC（自走タイムコード）か、ATC（アンシラリータイムコード）か、フレーム入力 LTC かを選択します。

9-3-13. タイムコードオフセット

タイムコードのオフセットをオン、オフします。

9-3-14. タイムコードオフセット（時）～（フレーム）

タイムコードのオフセット値を時、分、秒、フレームで設定します。

9-3-15. タイムコードロスト時

タイムコードがロストとしたときの動作を設定します。自走、停止、パケットなし、入力 LTC が選択できます。

9-3-16. タイムコード初期値（時）～（フレーム）

自走時のタイムコード初期値を時、分、秒、フレームで設定します。

9-3-17. タイムコード初期値(BG1)～（BG フラグ）

タイムコードパケットの BG1～BG フラグの値を設定します。

9-3-18. タイムコードドロップフレーム

タイムコードをドロップフレームでカウントする場合はオンに設定し、ノンドロップフレームでカウントするときはオフに設定します。

9-3-19. タイムコード初期値読み込み

オンに設定すると、設定されたタイムコード初期値がセットされます。

9-3-20. タイムコードフレーム初期値読み込み

タイムコードのフレーム初期値を読み込む場合はオン、読み込まない場合はオフに設定します。

9-3-21. タイムコードラン

自走の時にタイムコードをオンで、カウント開始し、オフでカウント停止します。

9-3-22. 同じ TC ロスト判定

同じタイムコード値が入力された場合、オンの場合ロストと判定し、タイムコードロスト時の設定された動作を行います。オフに設定された場合はそのまま、同じタイムコードをスルー出力します。

9-3-23. DF/NDF モード

入力されている DF/NDF 情報に従い動作するか、強制的に DF 又は NDF で動作するかを設定します。入力追従モード、強制 DF モード、強制 NDF モードが設定できます。

9-3-24. エンベデッド・グループ 1～8 出力

出力エンベデッド・グループのオン、オフを設定します。

9-3-25. 自動プリセット適用

局間制御コードの音声モードに従い、プリセットを切り替える場合はオンに設定し、音声モードに従わないときはオフに設定します。オフの場合には、プリセット 1 で動作します。

9-3-26. プリセット 1M~プリセットその他

各音声モードで適用するプリセット番号を設定します。

9-3-27. GPI1,GPI2 機能

GPI1,GPI2 の機能を設定します。プリセット 1~12 の読み込み、出力 SDI フリーズ、出力 SDI スルー、音声出力ミュート、タイムコードセット、SDI リモート録画トリガ、静止画 1~4 スーパー、スーパーマスク 1~4、なしが設定できます。

9-3-28. GPO1,GPO2 機能

GPO1,GPO2 の機能を設定します。プリセット 1~12 タリー、出力 SDI フリーズタリー、出力 SDI スルータリー、音声出力ミュートタリー、タイムコードセットタリー、SDI リモート録画トリガタリー、静止画 1~4 スーパータリー、スーパーマスク 1~4 タリー、SDI エラータリー、REF エラータリー、LTC エラータリー、ラインエラータリー、なしが設定できます。

9-3-29. SDI リモート録画

SDI リモート録画のパケット出力のオン、オフを設定します。

9-3-30. スーパー出力

スーパー静止画選択で設定された静止画をオンでスーパーし、オフでスーパー停止します。本機能はスーパーオプションが必要です。

9-3-31. スーパー静止画選択

スーパーする静止画を Picture1~4 から選択します。Picture1~4 は SD カードに書き込んでおき、ファイル名は pic1.tga~pic4.tga に固定されており、ファイルフォーマットは KEY 付きの TARGA 非圧縮フォーマットです。

9-3-32. スーパー位置(X)、(Y)

スーパーする位置の X、Y 座標を設定します。設定範囲は X 座標が 0~1919 で、1 ピクセル単位、Y 座標が 0~1079 で、1 ライン単位で設定します。画面左上が(0,0)になります。

9-3-33. スーパーマスク 1~4

スーパーマスク 1~4 のオン、オフを設定します。オンでマスク設定エリアのスーパーがマスクされます。オフはマスクされません。

9-3-34. スーパーマスク 1 左上(X)~スーパーマスク 4 右下(Y)

スーパーのマスク設定エリア 4 パターンの座標を設定します。設定範囲は X 座標が 0~1919 で、1 ピクセル単位、Y 座標が 0~1079 で、1 ライン単位で設定します。画面左上が(0,0)になります。

9-3-35. プリセット読み込み

EEPROM 内のプリセットを読み出します。読み出す前に書き込んでおく必要があります。プリセット 1~12 を選択して読み込みます。

9-3-36. プリセット書き込み

現在の設定情報を EEPROM のプリセットに書き込みます。プリセット 1~12 を選択して書き込みます。

9-3-37. カレントエンベデッド Ch01~Ch32 入力ゲイン

エンベデッド音声入力ゲインを設定します。単位は dB で、設定するゲイン値の 10 倍の値を設定できます。設定できる範囲は -500(-50.0dB)~500(+50.0dB)です。

9-3-38. カレントエンベデッド Ch01~Ch32 出力ゲイン

エンベデッド音声出力ゲインを設定します。単位は dB で、設定するゲイン値の 10 倍の値を設定できます。設定できる範囲は -500(-50.0dB)~500(+50.0dB)です。

9-3-39. カレントテストトーン 1 振幅(dBFS)

テストトーン 1 の振幅を設定します。設定範囲は、-63~0dBFS で、1dB 単位で設定します。

9-3-40. カレントテストトーン 1 周波数

テストトーン 1 の周波数を選択します。選択できるのは、400Hz, 800Hz, 1kHz, 2kHz です。

9-3-41. カレントテストトーン 2 振幅(dBFS)

テストトーン 2 の振幅を設定します。設定範囲は、-63~0dBFS で、1dB 単位で設定します。

9-3-4 2. カレントテストトーン 2 周波数

テストトーン 2 の周波数を選択します。選択できるのは、400Hz, 800Hz, 1kHz, 2kHz です。

9-3-4 3. カレントリマップ出力 Ch01～Ch32

エンベデッド音声出力のリマップ設定をチャンネルごとに行います。エンベデッド入力 Ch01～Ch32、テストトーン 1,2、ダウンミック音声、ミックス音声 1～8、ミュートが設定できます。

9-3-4 4. ダウンミックス・ソース選択 Ch01～Ch32

ダウンミックス演算を行う各チャンネルのソースを設定します。エンベデッド入力 Ch01～Ch32、テストトーン 1,2、ミュートが設定できます。

9-3-4 5. ダウンミックス・Left、Right 係数 Ch01～Ch32

ダウンミックス演算を行う、Lch、Rch 用の係数を設定します。設定する係数の 10 倍の値を設定します。-126(-12.6dB)～0dB、-127 に設定したときは係数 0 を設定します。

9-3-4 6. ダウンミックス・Left、Right 符号 Ch01～Ch32

ダウンミックス演算を行う、Lch、Rch 用の符号を設定します。-1(マイナス)か、1 (プラス) を設定します。

9-3-4 7. ミックス 1～8 ソース選択 Ch01～Ch04

各指定された 4 チャンネルの音声合成を 8 パターン行うことができ、各ソースを設定します。エンベデッド入力 Ch01～Ch32、テストトーン 1,2、ミュートが設定できます。

9-3-4 8. ミックス 1～8 係数 Ch01～Ch04

各 4 チャンネルの係数を設定します。設定する係数の 10 倍の値を設定します。-126(-12.6dB)～0dB、-127 に設定したときは係数 0 を設定します。

9-3-4 9. カレント音声遅延(ms)

音声遅延を設定します。設定できる範囲は、0ms～2000ms で、1ms 単位です。

9-3-5 0. カレント輝度(*0.1%)

輝度調整値を設定します。設定値の 10 倍の値を設定します。設定できる範囲は、0～2000(200.0%)です、0.1%単位で設定できます。

9-3-5 1. カレント彩度(*0.1%)

彩度調整値を設定します。設定値の 10 倍の値を設定します。設定できる範囲は、0～2000(200.0%)です、0.1%単位で設定できます。

9-3-5 2. カレント色相(*0.1°)

色相調整値を設定します。設定値の 10 倍の値を設定します。設定できる範囲は、-1800(-180.0°)～1800(+180.0°)です、0.1°単位で設定できます。

9-3-5 3. アラーム設定 (内部バス通信エラー)

内部バス通信エラーが発生したときにアラーム出力するか (有効)、しないか (無効) を設定します。

9-3-5 4. アラーム設定 (SDI 入力 1 アンロックエラー)

SDI 入力 1 アンロックエラーが発生したときにアラーム出力するか (有効)、しないか (無効) を設定します。

9-3-5 5. アラーム設定 (リファレンスアンロックエラー)

リファレンスアンロックエラーが発生したときにアラーム出力するか (有効)、しないか (無効) を設定します。

9-3-5 6. アラーム設定 (LTC アンロックエラー)

LTC アンロックエラーが発生したときにアラーム出力するか (有効)、しないか (無効) を設定します。

9-3-5 7. トラップ設定 (SDI 入力 1 アンロックエラー)

SDI 入力 1 アンロックエラーが発生したときに SNMP トラップ出力するか (有効)、しないか (無効) を設定します。

9-3-58. トラップ設定（リファレンスアンロックエラー）

リファレンスアンロックエラーが発生したときに SNMP トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-3-59. トラップ設定（LTC アンロックエラー）

LTC アンロックエラーが発生したときに SNMP トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-3-60. 初期設定に戻す

戻すボタンをクリックすると各種設定を初期状態にします。ただし、この操作だけでは現在のモジュール状態が初期状態になるだけで SD カードに設定情報を書き込んでいませんので、再度電源投入すると、SD カードに設定されている設定値で起動されます。

9-3-61. コンフィグファイルに書き込み

現在の設定値をコンフィグファイルに書き込みます。はい（プリセット 1）～はい（プリセット 12）が設定でき、設定したときに SD カード内のコンフィグファイルを書き換えます。一度、はい（プリセット 1）を指定し、プリセット 1 に書き込んだ後に、設定修正し、再度書き込む場合は、一度いいえを選択後、再度はい（プリセット 1）を選択してください。

9-4. 再起動設定

コントローラの再起動を WEB から行うことができます。再起動を行うことにより、SD カードの設定を再読み込みします。



The image shows a web interface for '再起動設定 [-]' (Restart Settings [-]). It contains two settings: '再起動を許可' (Allow Restart) with a dropdown menu set to 'いいえ' (No), and 'コントローラの再起動' (Restart Controller) with a green '再起動' (Restart) button next to it. A '2項目' (2 items) label is in the top right corner.

9-4-1. 再起動を許可

再起動の許可をするか、しないかをいいえ、はいで設定します。

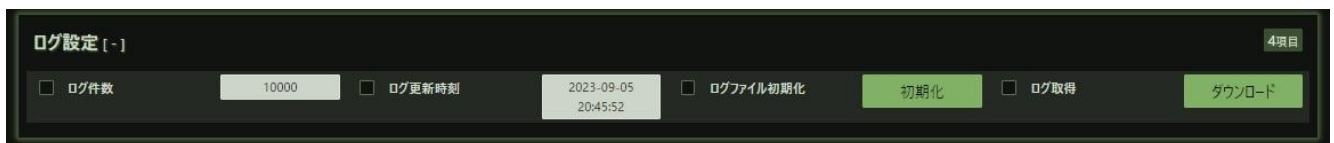
9-4-2. コントローラの再起動

再起動の許可がはいの状態で、再起動をクリックすることによりコントローラが再起動されます。

9 – 5 . ログ設定

ログの初期化、ログのダウンロードを行うことができます。動作中に SD カードを抜くとロギング動作は停止します。再度 SD カードを挿入した後は、コントローラを再起動してください。ログの時刻はリアルタイム時刻ソースで設定したソースの時刻情報です。また、ログに記録する内容は以下の通りです。

- 1) ステータス
 - ・SDI 入力のアナロックを含むフォーマットと変化時刻
 - ・LTC 入力ロック/アナロックと変化時刻
 - ・リファレンス入力のアナロックを含むフォーマットと変化時刻
- 2) 各種設定
 - 全項目の設定値と変化時刻



9 – 5 – 1 . ログ件数

現在のログ件数を表示します。最新のログが最大 10000 件保存されます。

9 – 5 – 2 . ログ更新時刻

ログの最終更新時刻を表示します。

9 – 5 – 3 . ログファイル初期化

初期化ボタンをクリックすることにより、ログを初期化します。

9 – 5 – 4 . ログ取得

ダウンロードボタンをクリックすることにより、WEB を開いている PC にログをダウンロードします。

ダウンロードしたログの例を以下に示します。

idx	time	,slt	, mode	, OID	, type	, val	Status	Description
10	2023-09-06 18:52:58		3	System				Logging Start
11	2023-09-06 18:52:58		3	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.67.30.100	INT	1	SDI UNLOCK
12	2023-09-06 18:52:58		3	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.67.30.102	INT	1	REF UNLOCK
13	2023-09-06 18:52:58		3	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.67.30.205	INT	1	LTC lock
14	2023-09-06 18:52:59		3	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.67.30.100	INT	13	SDI 1080I59
15	2023-09-06 18:53:02		3	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.67.30.102	INT	2	REF 525I59
16	2023-09-06 18:53:02		3	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.67.30.102	INT	1	REF UNLOCK
17	2023-09-06 18:53:03		3	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.67.30.102	INT	2	REF 525I59

9-6. 製品情報

製品情報には各種モジュールの製品情報が表示されます。



The screenshot shows a web interface for product information. It has a title bar '製品情報 [-]' and a '7項目' button. The form contains several fields: '製品ID' (67), '製品概要' (DFS5201, 1 slot, 3G/HD/SD-SDI Frame Synchronizer Module), 'Version (Firmware)' (1.4.3.0), 'Version (Hardware)' (1.2.6.0), '占有スロット数' (1), '別名' (DFS5201), and 'スーパーオプション' (無効). Each field has a small square icon to its left.

9-6-1. 製品 ID

モジュールの ID 番号です。DFS5201 は 67、DFS5202 は 68 です。

9-6-2. 製品概要

モジュールの機能概要です。

9-6-3. Version (Firmware), Version (Hardware)

DFS5201/DFS5202 に搭載されている CPU の Firmware バージョンと、FPGA の Hardware バージョンを表示します。

9-6-4. 占有スロット数

占有するスロット数を表示します。DFS5201 は 1 スロット、DFS5202 は 2 スロットです。

9-6-5. 別名

別名を設定することができます。ユニークな名称を設定し、SNMP で名称確認することができます。

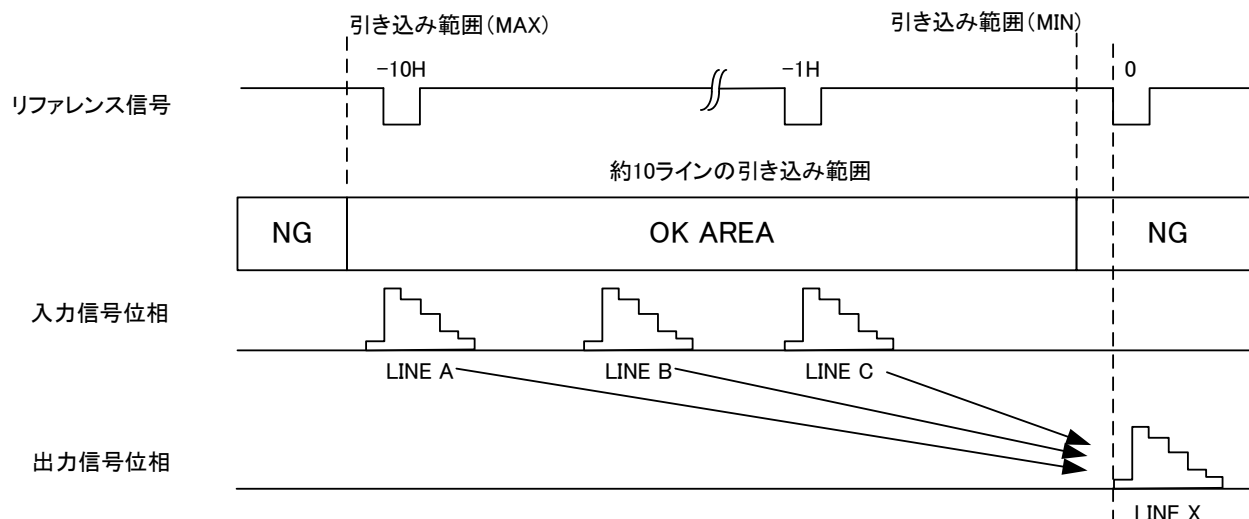
9-6-6. スーパーオプション

オプションのスーパーオプションが有効か、無効かを表示します。

10. 各種タイミングについて

10-1. AVDL モード引き込み範囲と入出力遅延

出力タイミングを基準としたときの入力信号の引き込み範囲は約 10 ラインの引き込み範囲を有しています。出力タイミングに対して約 10 ラインの下図の OK エリアの範囲で入力された信号は、出力タイミングで正しく出力され、NG エリアで入力された信号は、出力タイミングでは数ライン落ちた映像が出力されます。入力位相が OK エリアに入らないときは、出力位相を調整し、必ず OK エリアに入るようにしてください。



各フォーマットごとの引き込み範囲を以下に示します。

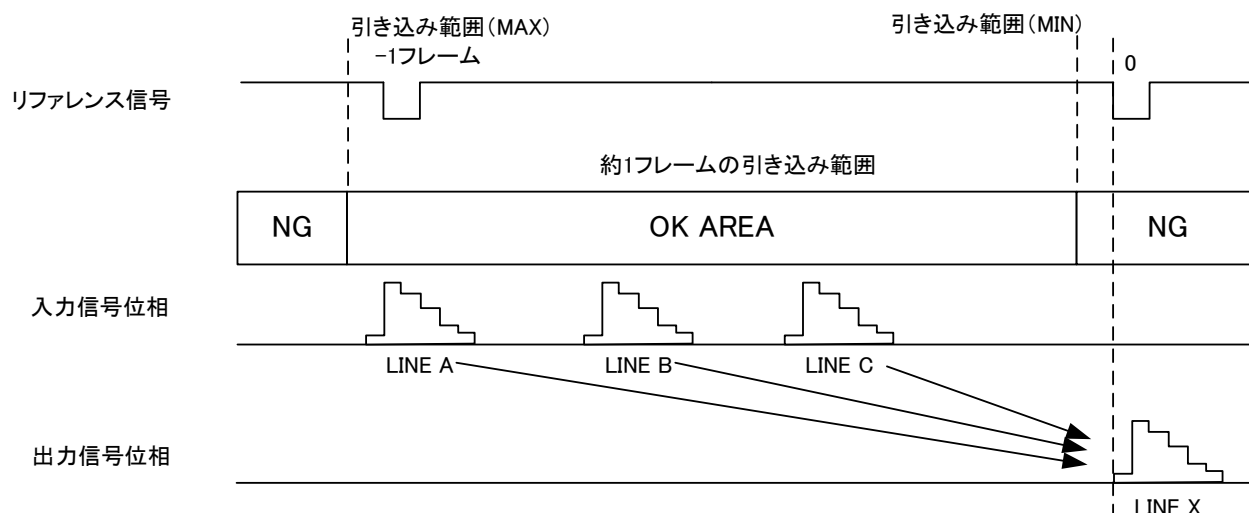
入力フォーマット	引き込み範囲 (MIN)		引き込み範囲 (MAX)	
525i59	-340pix	-12.704us	-50pix, -10H	-637.518us
625i59	-350pix	-13.148us	-50pix, -10H	-642.000us
720p60	-450pix	-5.980us	-70pix, -10H	-223.084us
720p59	-440pix	-5.999us	-60pix, -10H	-223.321us
720p50	-770pix	-10.424us	-60pix, -10H	-267.529us
720p30	-2080pix	-28.202us	-50pix, -10H	-445.293us
720p29	-2089pix	-28.163us	-50pix, -10H	-445.684us
720p25	-2740pix	-37.024us	-60pix, -10H	-534.128us
720p24	-2925pix	-39.300us	-70pix, -10H	-556.417us
720p23	-2925pix	-39.366us	-70pix, -10H	-556.987us
1080i60	-350pix	-4.768us	-60pix, -10H	-297.158us
1080i59	-350pix	-4.759us	-60pix, -10H	-297.428us
1080i50	-790pix	-10.640us	-60pix, -10H	-356.364us
1080p30	-360pix	-4.727us	-70pix, -10H	-297.118us
1080p29	-350pix	-4.745us	-60pix, -10H	-297.442us
1080p25	-790pix	-10.680us	-60pix, -10H	-356.391us
1080p24	-910pix	-12.162us	-70pix, -10H	-371.219us
1080p23	-910pix	-12.174us	-70pix, -10H	-371.219us
1080psf24	-910pix	-12.148us	-70pix, -10H	-371.205us
1080psf23	-910pix	-12.187us	-70pix, -10H	-371.604us

入力フォーマット	引き込み範囲 (MIN)		引き込み範囲 (MAX)	
1080p60A	-340pix	-2.364us	-50pix, -10H	-148.559us
1080p59A	-340pix	-2.332us	-50pix, -10H	-148.681us
1080p50A	-790pix	-5.347us	-60pix, -10H	-178.209us
1080p60B	-660pix	-4.525us	-80pix, -20H	-296.916us
1080p59B	-660pix	-4.496us	-80pix, -20H	-297.179us
1080p50B	-1560pix	-10.505us	-100pix, -20H	-356.229us

AVDLモードでの入出力遅延は、引き込み範囲と同じ値となります。入力フォーマットが1080i59の場合、入出力遅延は最小4.759us、最大297.428usとなります。

10-2. フレームシンクロナイズ・モード及びAAMモード入出力遅延

フレームシンクロナイズ・モードでは、非同期信号も最大約1フレームの遅延で出力します。



各フォーマットごとの入出力遅延を以下に示します。

入力フォーマット	入出力遅延 (MIN)	入出力遅延 (MAX)
525i59, 625i50	3H	1frame + 2H
720p*	3H	1frame + 2H
1080*(HD)	4H	1frame + 3H
1080p60A~1080p50A	4H	1frame + 3H
1080p60B~1080p50B	8H	2frame + 6H

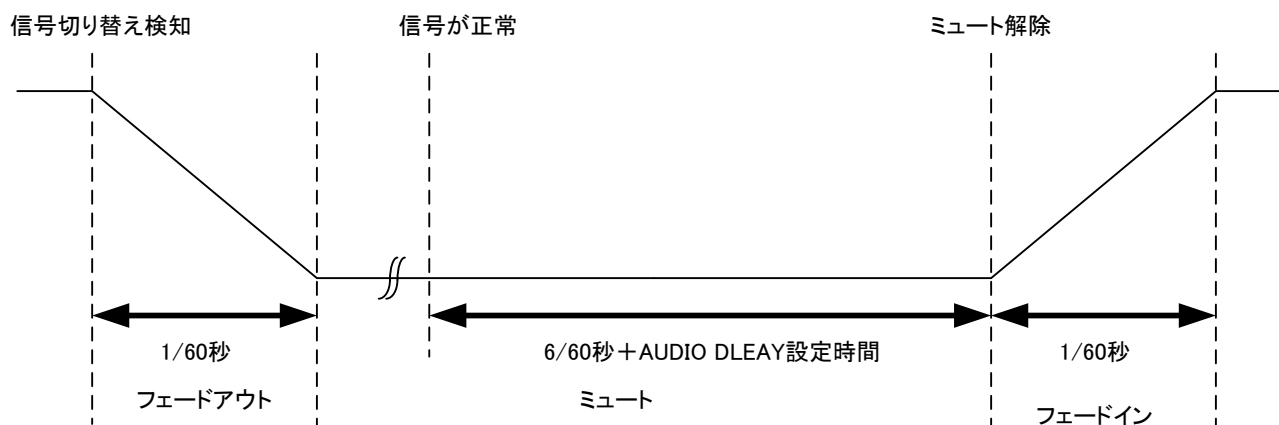
10-3. バイパス・モード入出力遅延

バイパス・モードでは、入力された SDI に同期し、最小遅延で出力します。各フォーマットごとの入出力遅延を以下に示します。

入力フォーマット	入出力遅延(us)	入力フォーマット	入出力遅延(us)
525i59	14.815	625i50	14.815
720p60	11.475	720p59	11.459
720p50	11.502	720p30	11.475
720p29	11.473	720p25	11.475
720p24	11.461	720p23	11.473
1080i60	5.428	1080i59	5.420
1080i50	11.569	1080p30	5.428
1080p29	5.447	1080p25	11.475
1080p24	13.481	1080p23	13.508
1080psf24	13.481	1080psf23	13.508
1080p60A	2.707	1080p59A	2.743
1080p50A	5.825	1080p60B	5.407
1080p59B	5.406	1080p50B	11.515

10-4. AAM モードでの音声ミュート時間

AAM（音声自動ミュート）モードでは、入力信号の切り替えを検知すると、1/60 秒間（約 1 フィールド）でフェードアウトし、信号が正常になってから 6/60 秒（約 3 フレーム）間と AUDIO DELAY で設定した時間ミュート処理を行い、1/60 秒間でフェードインし、通常状態に戻ります。



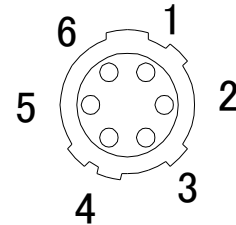
フォーマットによらず一定時間ミュート処理を行います。

1 1 . コネクター ピンサイン表

PANEL ヒロセ電機 HR10A-7R-6S

1	GND	3	RXD+	5	TXD+
2	TXD-	4	GND	6	RXD-

TXD+/TXD-,RXD+/RXD- RS-422シリアル



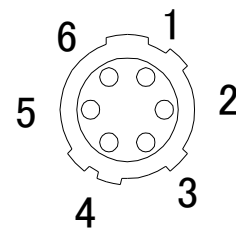
REM ヒロセ電機 HR10A-7R-6S

1	GND	3	GPI2	5	GPO1
2	GPI1	4	+12V OUT	6	GPO2

GPI1～GPI2 メーク接点入力(+3.3Vロジック回路受け)

GPO1～GPO2 オープンコレクター出力(24V/30mA MAX)

+12V OUT +12V(100mA MAX)



1 2 . 定格および電気的特性

SDI 入力	対応フォーマット(映像)	3G-SDI 1080/ 60p,59.94p,50p (レベル A/B) HD-SDI 1080/ 60i,59.94i,50i,30p,29.97p,25p,24p, 23.98p,24psf,23.98psf 720/ 60p,59.94p,50p,30p,29.97p,25p, 24p,23.98p SD-SDI 525/59i, 625/50i
	対応フォーマット(音声)	48kHz sampling 20bit,24bit 同期音声のみ
	コネクター	BNCx1
	入力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p 75 Ω
SDI 出力	対応フォーマット(映像)	3G-SDI 1080/ 60p,59.94p,50p (レベル A/B) HD-SDI 1080/ 60i,59.94i,50i,30p,29.97p,25p,24p, 23.98p,24psf,23.98psf 720/ 60p,59.94p,50p,30p,29.97p,25p, 24p,23.98p SD-SDI 525/59i, 625/50i
	対応フォーマット(音声)	48kHz sampling SD 20bit,3G/HD 24bit
	コネクター	BNCx4
	出力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p 75 Ω
リファレンス入力	コネクター	DFS5201 なし DFS5202 BNCx2 (ループスルー含む)
	入力信号、インピーダンス	アナログブラックバースト/3 値シンク 75Ω
PANEL	コネクター	小型丸形コネクター-6ピン x1 ※DFS5202 のみ
リモート入出力	コネクター	小型丸形コネクター-6ピン x1 ※DFS5202 のみ
占有スロット数	DFS5201	1 スロット
	DFS5202	2 スロット
AVDL モード引き込み 範囲	SD-SDI	MIN 約-13us、MAX 約-637us
	HD-SDI	MIN 約-39us、MAX 約-223us
	3G-SDI レベル A	MIN 約-5us、MAX 約-148us
	3G-SDI レベル B	MIN 約-10us、MAX 約-296us
フレームシンクロナイズ・モード及び AAM モード引き込み範囲	引き込み範囲に制限なし	
AVDL モード入出力 遅延	SD-SDI	MIN 約 12us、MAX 約 642us
	HD-SDI	MIN 約 4.7us、MAX 約 556us
	3G-SDI レベル A	MIN 約 2.3us、MAX 約 178us
	3G-SDI レベル B	MIN 約 4.5us、MAX 約 356us

フレームシンクロナイズ・モード及びAAMモード入出力遅延	SD-SDI	MIN 約 3H、MAX 約 1 フレーム+2H
	HD-SDI(720p)	MIN 約 3H、MAX 約 1 フレーム+2H
	HD-SDI(1080)	MIN 約 4H、MAX 約 1 フレーム+3H
	3G-SDI レベル A	MIN 約 4H、MAX 約 1 フレーム+3H
	3G-SDI レベル B	MIN 約 8H、MAX 約 2 フレーム+6H
バイパス・モード入出力遅延	SD-SDI	MIN 約 14.8us
	HD-SDI(720p)	MIN 約 11.5us
	HD-SDI(1080)	MIN 約 5.4~13.5us
	3G-SDI レベル A	MIN 約 2.7us~5.8us
	3G-SDI レベル B	MIN 約 5.4us~11.5us
音声遅延	0ms~2000ms、1ms 単位で設定可能(全モード)	
AAM モードでの音声ミュート時間	8/60 秒+AUDIO DELAY 設定時間(フェード時間含む)	
出力位相調整範囲	水平方向： +/-1920 ピクセル, 垂直方向： +/- 600H	
動作環境	0 ℃ ~ 40 ℃ 20 % ~ 85 % (結露無きこと)	
電源	DC 12V	
消費電力	DFS5201	9.5W
	DFS5202	10.4W
外形寸法	398.5 x 88 mm	
質量	DFS5201	0.2kg
	DFS5202	0.25kg
オプション	スーパーインポーズ機能、 外部制御パネル RMT5001-DFS	

1 3 . お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング

Address : 〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11

TEL: 042-586-2933 (代表)

042-586-2650 (SI 部)

FAX : 042-584-0314

URL: <https://www.cosmic-eng.co.jp/>

E-Mail: c1000@cosmic-eng.co.jp